

RGCオリジナル ワスネツォフ絵はがき

# 「3びきのくま」



★V-No.1  
「3びきのくま」  
L.トルストイ文 Yu.ワスネツォフ画  
1961年



★V-No.2  
道に迷った女の子が、森の中で小さな家を見つけました。  
家のドアは開いていて、のぞいてみると中には誰もいません。  
女の子は家に入りました。



★V-No.3  
女の子はつくえの上にスープの入った3つのお碗を見つけました。  
いちばん大きなお碗と 中っくらいのお碗から スープを一口ずつ飲み、  
最後に 小さな青いお碗のスープを飲んでみると いちばんおいしかったので、全部飲んでしまいました。



★V-No.4  
つくえのまわりにはいすが3つありました。  
いちばん大きないすと 中っくらいのいすに座ってみると 座り心地が悪く、  
最後に青いクッションのついた小さないすに座ってみると とても座り心地がよかったので、女の子はいすをゆらしはじめました。



★V-No.5  
隣の部屋をのぞいてみると、そこにはベッドが3つ並んでいました。  
いちばん大きなベッドと 中っくらいのベッドに寝てみましたが 気に入らず、  
最後にいちばん小さなベッドに寝てみると、とても寝心地がよく、女の子はそのままスヤスヤと眠ってしまいました。



★V-No.6  
その家は3びきのくまの家でした。  
1びきは父さんくまのミハイル・イワノヴィチ、もう1びきは 母さんくまのナスターシャ・ベトロヴナ、  
そして3びきめはまだ小さなミシュートカです。  
3びきはちょうど森に散歩にでかけていました。



★V-No.7  
そこへくまたちが散歩から帰ってきました。  
ミハイル・イワノヴィチが うなりました。「だれだ わしのスープを飲んだのは!」  
ナスターシャ・ベトロヴナも 叫びました。「だあれ わたしのスープを飲んだのは!」  
ミシュートカは お碗といすを見て泣きだしました。「だれかがぼくのスープを全部飲んで、ぼくのいすをこわしちゃった!」



★V-No.8  
くまたちは隣の寝室へ入ってゆきました。  
ミハイル・イワノヴィチが うなりました。「だれだ わしのベッドに寝たのは!」  
ナスターシャ・ベトロヴナが 叫びました。「だあれ わたしのベッドに寝たのは!」  
ミシュートカが叫びました。「だれかがぼくのベッドに寝ているよう! 早く! 早く! つかまえて!」



★V-No.9  
女の子は飛び起き、窓から外へ飛びだしました。  
くまたちは後を追いかけてきましたが、女の子はあっという間に逃げてしまいました。

